

新幹線プレス

2021年6月24日

No.523

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

結成30年、更なる闘いのため全力で闘おう！

新幹線地本第28回定期大会開催！



6月20日、品川第一区民集会所において、第28回定期大会を開催しました。コロナ禍で感染防止に細心の注意を払い、来賓は本部木下委員長のみで、短時間での開催となりました。

議長には山本修代議員（車両所分会）を選出。挨拶に立った杉澤委員長は「JR東海労

結成30年、森下さん加入20年、松山さん加入10年の記念の年である。コロナ感染拡大が続いている。このまま推移すれば会社は赤字に転落するのは明らか。リニア建設は中止をすべき。乗務員の54歳原則出向の再開はJR東海労組織破壊攻撃である、攻撃に対していかに闘うのか、分会・地本・本部の体制をどう構築するのか、出向者と連携した闘いをつくりだす。論議を」と提起しました。本部木下委員長からは「54歳原則出向再開、出向先で何ができるのか議論していく。8月11日で結成30年、何らかの取り組みを行いたい。」と挨拶がありました。

質疑では代議員9名から、54歳原則出向に対する闘い、年休裁判、診断書中労委、633A乗務員室離脱問題、水野裁判、職場の問題解決の取り組みなどの発言があり、それを受けて、伊藤書記長から「54歳原則出向の再開はJR東海労組織破壊攻撃である、組織の強化・拡大で跳ね返していく。今後の地本・分会の組織のあり方について、組織展望を切り拓くために議論を深めよう」と総括答弁を行いました。

最後に、杉澤委員長の団結ガンバローで成功裡に大会を終了しました。

今大会で、小林執行委員が退任となりました、長い間、総務を中心に支えていただき大変お疲れ様でした。